

フランス革命後にナポレオンが国民に受け入れられた理由とナポレオンの政策について 100 字程度で詳しく述べなさい (100 字程度)

ナポレオンはイタリア遠征やエジプト遠征の功績により、国民から名声を得ていて、政治でも人権宣言で理想として揚げられた原則を法で現実化したりして国民からの信頼を得た。ナポレオンは民法典を公布したり、征服した国を合併した国を併合したり、神聖ローマ帝国を解体したりした。また、イギリスに対して大陸封鎖をしたが効果は小さく、反発したロシアに対する遠征に失敗し、権力の柱である軍事力を失った。(190 字)

国同士がどのような手段で接することが大切か (150 字程度)

この項目は自分の意見を書くもので、このまま覚えることはおすすめしません。

国同士が自国の利益に取られず、お互いに不足しているリソースを補い合うことが重要である。食料が豊かで石油などの焼料が不足している国に対しては、焼料資源が豊富な国が手を差し伸べてあげればいいし、食料が豊かなので、食料が不足している国に手を差し伸べてあげることができる。このように、お互いに不足を補い合う関係が大切である。また、観光などによって市民レベルでの交流を促進し、お互いの国の文化を理解していくことも大切である。(208 字)

フランス革命後、ヨーロッパがフランスを敵視した理由 (80 字程度)

フランス革命は、ヨーロッパの旧体制を打破し、共和制を打ち立てようとした出来事であり、自由や平等といった革命思想は周辺諸国にも広がり、ヨーロッパの君主制国家にとって大きな脅威となった。周辺諸国はフランス革命のような革命が自国でも起こることを恐れ、フランスを敵視した。(132 字)

アメリカ独立戦争の背景と経過 (80 字程度)

アメリカ独立戦争は、七年戦争後の財政赤字によるイギリスからの課税がきっかけで始まった。その後課税はなくなったが対立は続き、ボストン茶会事件が起こったことでイギリスは港を軍事封鎖。これに対しアメリカは大陸会議を設置して抗議した。その後、アメリカは独立宣言を発し、ワシントンを総司令官にしフランスなどでの援軍もあり、戦争に勝利。アメリカ合衆国として独立が認められた。(181 字)

三権分立の内容とその効果 (80 字)

三権分立とは、国の権力を立法、行政、司法の 3 つに分けそれぞれ別の機関が行う仕組みである。これにより、権力の集中を防ぎ、国民の権利や自由を守ることができる。それぞれの機関が互いに監視し合い、バランスを保つことで、独裁を防ぎ民主主義を促進することができる。(126 字)